



土日の相談強化で幅広い転職希望者の取り込みを狙う

JACジャパン

人材紹介のジェイエイシージャパン（JACジャパン、東京・千代田、神村昌志社長）は土曜、日曜日の転職相談サービスを強化し始めた。これまではキャリアコンサルタントの勤務シフトを考慮し、土日の相談はほとんどなかった。働きながら転職先を探す人が増えているのを受けた措置で、年内に全支店で五千人の訪問を見込む。

土日の転職相談を拡充

有職者取り込み

優秀な人材確保

土日の転職相談では転職希望者の「時間を気にせず相談したい」との要望を踏まえ、時間をかけて相談に応じる態勢を整えるほか、キャリア形成や語学に関するセミナーを開く。

同社では希望者の七割が働きながら転職先を探る人で、平日夕方からの相談では対応しきれない状態が続いていた。また、二十代の若年層の転職相談が増えている影響で、

の受け入れが急激に伸びているといい、人材紹介会社を通じた転職者も増えている。同社によると、一―五月で転職希望者は前年同期比で三割増と大幅に伸びている。

人材紹介は転職希望者に無料で転職先を紹介し、転職で合意した場合に企業から報酬を得る。同社は優秀な人材の確保を図り、今年度一億二千万円の増収を目指す。

一人あたりのカウンセリ
ングにかかる時間が長引
く傾向にあるという。
今後、正月三が日と祝
日以外は転職相談を開く
ようにして転職希望者の
要望にきめ細かく対応で
きるようにする。一方、
コンサルタントへの労働
負担を軽減するために勤
務シフトを変えるなどし
て休暇の取得に支障がな
いよう工夫する。
景気回復による企業の
採用枠の拡大で、転職者